

ご意見・ご提案の提出方法について



◆次のいずれかの方法でご意見をお寄せください。

電子申請
フォーム

携帯電話、スマートフォン、パソコンから
ご利用ください。

(右記二次元コードまたは下記 URL からアクセスできます)

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/2e24a4a2-a3cc-419f-a6f7-7ada3ab65397/start>



電子メール

kz-chifukuplan@city.yokohama.lg.jp

郵便

素案冊子の裏表紙に印字されている専用ハガキをご
利用ください。その他、封書でも可能です。

FAX

045-784-4600

※電子メール・封書・FAXの場合、書式は問いませんが、お住まいの町名、年齢（18歳未満・18～39歳・40～64歳・65～74歳・75歳以上）をご記入ください。

◆計画素案の詳しい内容は、素案冊子をご覧ください。

冊子は金沢区福祉保健課、金沢区社会福祉協議会、金沢区内の地域ケアプラザ、地区センター等で配付しています。

また右記の二次元コード（金沢区ホームページ）からもダウンロードできます。



◆ご提出にあたり、以下の点にご留意ください。

- ・いただいたご意見は今後の計画策定や地域福祉保健施策の参考とさせていただきます。
- ・後日、ご意見を取りまとめたものを金沢区地域福祉保健計画推進委員会へ報告するとともに、ホームページにて公表します。
- ・ご意見に対する個別回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ご意見の提出等に伴い取得した個人情報は適正に管理し、この意見募集以外の目的で利用することはありません。

発行・お問合せ先

横浜市金沢区役所 福祉保健課事業企画担当
■〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1
■電話：045-788-7824 ■FAX：045-784-4600
■Eメール：kz-chifukuplan@city.yokohama.lg.jp

社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会
■〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 1-21-5
■電話：045-788-6080 ■FAX：045-784-9011
■Eメール：info@kanazawa-shakyo.jp

令和7年3月発行

金沢区に暮らす誰もが5年後、10年後もずっと安心して健やかに住み続けられるように

あなたのご意見をお聞かせください



【募集期間】

令和7年4月11日（金）～5月16日（金）必着

第5期 金沢区地域福祉保健計画（計画期間：令和8～12年度）

金沢ささえあいプラン

～つながろう・ふみだそう・いきいきと～
（素案・概要版）

～ご意見をお待ちしています～

例えば…

- ◆計画の内容について
 - ・地域の中で「こんな取組があったらいいな」というアイデアやご意見
 - ・素案の中でこの部分が気になった（関心を持った、分かりにくい）
- ◆計画の普及・啓発について
 - ・計画を多くの人に知っていただくためのアイデアやご意見
- ◆ご自身や地域の皆さんで取り組めそうなこと、心がけたいこと

横浜市地域福祉保健計画の
キャラクター ちふくちゃん



金沢区幸せお届け大使
ぼたんちゃん



金沢ささえあいプラン とは

金沢区に暮らす誰もが安心して健やかに住み続けられるまちを目指して、地域の皆さんと関係機関、区役所等が協働しながら取り組むための計画です。

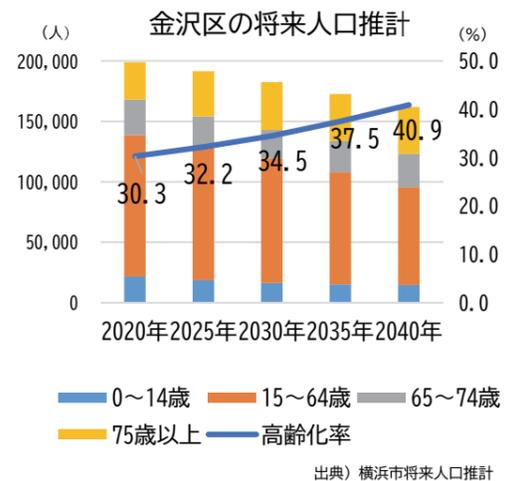
金沢区役所

金沢区社会福祉協議会

Q なぜ計画が必要なの？

金沢区では人口の減少や高齢化、一人暮らしの方の増加、近所付きあいの希薄化等により自分や家族だけでは解決できない課題を抱える方が今まで以上に増えることが予測されています。

誰もが5年後、10年後もずっと安心して住み続けられるように、計画の推進を通じてお互いを気かけ、支えあえる関係を築きながら、助けあいの取組を充実していく必要があります。



Q どのように進めるの？

ささえあいプランは「一人ひとりができること（自助）」「地域みんなが協力してできること（共助）」「区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等ができること（公助）」を連動させながら、地域におけるつながりを広げ、みんなで支えあいのまちづくりを進めていきます。



多くの人で目指す姿を共有するための「道しるべ」としての意味合いも大きいね！



Q この計画では何をを目指すの？

目指す方向性（基本理念）

誰もが安心して健やかに住み続けられる 支えあいのまちづくり

金沢区の置かれている現状や課題を踏まえて、これまで積み重ねてきた「つながり」や「ささえあい」の活動が更に発展するように3つの推進の柱と、柱ごとに目指すまちの姿を設定しました。

また、取組にあたっては、「情報発信」と「連携」を意識しながら進めていきます。

柱Ⅰ つながろう ～誰もがお互いを尊重し共に支えあう地域へ～

柱Ⅱ ふみだそう ～誰もが活躍できる場やきっかけが広がる～

柱Ⅲ いきいきと ～みんなで健康づくりに取り組みいきいきとしたまちへ～



柱に対する金沢区の目指す姿は右側のページを見てね

こんな金沢区になったらいいな

柱Ⅰ：つながろう



- 様々な人が交流できる機会が増え、近所でのあいさつ・声かけによるつながりが広がっている
- あらゆる年齢、性別、障害、国籍等、様々な立場・背景にある方とつながりや交流を通じてお互いを知り、理解や認めあいが広がっている
- 日常生活の中でお互いを気にかけてあい、多様な見守りやささえあいの輪が広がっている



主な取組：隣近所とのあいさつ、交流の場づくり（サロン、お祭り等）、身近な地域の見守り等

柱Ⅱ：ふみだそう



- 地域活動やボランティア活動に参加する人が増えている
- 個人・団体・地域が、お互いの立場や考え方、気持ちを理解しあうことで活動が広がっている
- 多くの人がそれぞれにできることに取り組み、活動を支援する仕組みを活用することで活動しやすい地域になっている



主な取組：活動をはじめのきっかけづくり、活躍の場づくり、地域活動の役割分担等

柱Ⅲ：いきいきと



- 様々な媒体や機会を通じて健康づくりに役立つ情報が提供されている
- 誰もが自分らしい生活を送るために自分ができることに取り組んでいる
- 身近な地域の中で、つながりを通じた健康づくりの場や機会が充実している



主な取組：身近な公園や施設での体操・運動、スポーツイベント、健診の受診等